

(社)日本損害保険協会 2009年度自賠責運用益拠出事業
(障害者の成年後見制度活用促進研究費)

高次脳機能障害に関する 研究委員会

2009年度報告書

平成22年 3 月

高次脳機能障害に関する研究委員会

日本成年後見法学会

は し が き

2001年度から高次脳機能障害支援モデル事業が5年間にわたって実施され、「診断基準」も示されて、この障害についての理解が広まっているといわれる。2006年4月には、障害者自立支援法が施行され、従来の3障害を統合したサービスが提供されることになった。この法律に都道府県が実施する専門的・広域的相談支援事業の1つとして、「高次脳機能障害者支援普及事業」を位置づけられた。この事業では、支援に関わる専門職の研修、本人のニーズを把握し、ケアプランを作成し、サービスを提供する個別ケアマネジメントの実践、地域の関連機関のネットワーク化などがめざされている。しかし、こうした取組も地域格差が大きく、関係者に気付かれないままに、本人と家族が厳しい状況に追いやられている例も少なくはないと考えられる。

日本成年後見法学会では、2004年4月、「高次脳機能障害に関する研究委員会」を設置し、こうした社会的な動向を踏まえ、交通事故による脳外傷が原因で高次脳機能障害を有した人に、成年後見制度を用いて本人の権利を守りながら、地域において、それぞれの自己決定に基づく生活の実現を支援するための調査研究を行ってきた。2004年度から3年間、社団法人日本損害保険協会の委託を受け、全国の家族会と協力してアンケートやヒアリングを実施し、その生活実態を明らかにし、支援のあり方について検討を重ねた。2006年2月、2007年3月に報告書を発刊し、毎年、学会の学術大会において、その成果を分科会形式で発表してきた。

また、2009年度より、同協会からさらに2年の委託を受け、成年後見制度の改正に向けた提案を視野に入れた制度活用のあり方について検討を続けている。2009年度は、NPO法人日本脳外傷友の会の東川悦子理事長を通じて全国規模のアンケート調査や、家族・本人へのヒアリングなどの調査を行い、高次脳機能障害のある人の実態把握、成年後見制度利用のあり方や制度改正への提言について検討を行った。そうした経緯を踏まえ、現行の法体系の中では適切な支援につながらないため、成年後見制度利用促進をめざす大綱や、「高次脳機能障害者支援法（仮称）」委員会試案の作成を試みるに至った。いずれも、今後の被害者救済や成年後見制度の普及にとって意欲的な内容となった。しかし、時間的な制約やテーマが広範に及んだため不十分な点があるのは否めない。今後の課題としたい。

これらの検討過程では、アンケートやヒアリングに協力してくださった日本脳外傷友の会、東京高次脳機能障害協議会、交通事故後遺障害者家族の会の皆様をはじめ、多くの方々のご協力をいただいた。また、事務局を担った鈴木真介氏は、細々した事務作業はもちろんのこと、全体の流れを見据えて委員会活動を推進し、報告書の作成でも大きな力を発揮してくださった。あらためて、多くの方々のご尽力に感謝申し上げたい。

今後も家族会や関係機関との連携を強化し、「親（養護者）なき後」の支援を具体化するための成年後見制度改正に向けた活動を進展させたいと考える。委員会活動の地道な積み重ねが、高次脳機能障害をもつの方々、そのご家族の安定した、納得できる生活の実現につながることを期待し、今後も活動を継続していきたいと考えている。

2010年3月

日本成年後見法学会高次脳機能障害者に関する研究委員会委員長

石 渡 和 実

第1章 高次脳機能障害をめぐる現状と成年後見制度の役割	3
① 高次脳機能障害の一般化	3
② 高次脳機能障害の混迷	3
③ 新しい概念としての高次脳機能障害	3
④ 支援の必要性	4
⑤ 成年後見制度の役割	4
⑥ 成年後見制度の現状	5
第2章 わが国における高次脳機能障害の概念・定義	7
① 概念の多義性	7
② 学術的意義	7
③ 自賠責保険における高次脳機能障害	8
④ 労災保険における高次脳機能障害	10
⑤ 高次脳機能障害支援モデル事業による高次脳機能障害	12
第3章 高次脳機能障害のある人の実情——ヒアリング・アンケート調査結果	14
① アンケート調査結果	14
② ヒアリング調査結果	18
③ アンケート・ヒアリング調査のまとめ	34
第4章 高次脳機能障害支援の取組みと支援のための社会システム	42
① 奈良県における高次脳機能障害支援のしくみと現状	42
② 島根県における高次脳機能障害のある人への支援	45
③ 高次脳機能障害のある人への支援に利用できる社会システム ——福祉サービスを中心に	51
第5章 英国（イングランドおよびウェールズ）における交通事故による後遺障害のために 判断能力が不十分となった人への支援と成年後見	56
第6章 交通事故による高次脳機能障害者の成年後見制度利用促進に向けて	61
① 経緯と概要	61
② 交通事故による高次脳機能障害者への成年後見制度利用促進等に関する大綱 ——立法提案に向けて	62
③ 交通事故による高次脳機能障害者の支援の充実にに向けて——運用の改善に向けた提案	64
第7章 高次脳機能障害者への有効な支援に向けた提言	73
① 「高次脳機能障害者支援法案（仮称）委員会試案」の策定の経緯	73
② 「高次脳機能障害者支援法案（仮称）委員会試案」の概要	77
③ 「高次脳機能障害者支援法案（仮称）委員会試案」	81
資料	
・高次脳機能障害に関するアンケート調査結果	88
・委員一覧	139